

System Center 2016

Standard および Datacenter Edition ライセンス データシート



製品の概要

System Center 2016 は、クラウドで培った経験をデータセンターに活かし、複雑な環境のシームレスな管理を実現します。また、包括的な監視、ハードウェアや仮想マシンのプロビジョニング、堅牢な自動化、構成管理などの機能によって、データセンターの管理を簡素化します。お客様は、データセンターとクラウド全体で IT リソースを常に制御できます。

Datacenter および Standard Edition の概要

Datacenter Edition は、高度に仮想化されたサーバーの管理に適しています。

Standard Edition は、ほとんど、あるいはまったく仮想化されていないサーバーの管理に適しています。

System Center 2016 のエディションの比較		
	Datacenter	Standard
OSE/Hyper-V コンテナ	無制限	2
Windows Server コンテナ	無制限	無制限
Configuration Manager	•	•
Data Protection Manager	•	•
Endpoint Protection	•	•
Operations Manager	•	•
Orchestrator	•	•
Service Manager	•	•
Virtual Machine Manager	•	•
価格	693,600円	254,400円

*16 コア 2 プロセッサ搭載サーバーの場合。
価格表記は、Open NL L&SAの2年間の参考価格(税抜)です。具体的な価格については、マイクロソフトの販売代理店にお問い合わせください。

System Center 2016 Standard および Datacenter Edition のライセンス モデル

System Center 2016 Standard および Datacenter のライセンス モデルにおける、サーバーおよびクライアントの管理ライセンスは、2012 R2 と同等です。System Center 2012 R2 と同様、2016 の各エディションの違いは仮想化の権利のみです。

ライセンスは、管理されているエンドポイントにだけ必要になります。管理サーバーや SQL Server ランタイム用に追加ライセンスは不要です。

System Center 2016 のサーバー管理ライセンスは、物理コア ベースに移行します。コア ベースのライセンスは、管理対象 VM の一貫したライセンス基準を提供するために、Windows Server 2016 モデルとの整合性が保たれます。

サーバー管理ライセンス + クライアント管理ライセンス (CML)

サーバーのオペレーティング システム環境 (OSE) を実行する管理対象デバイスには、サーバー ML が必要です。System Center 2016 サーバー ML はコア ベースになります。管理下の OSE においてライセンスを取得するには、管理対象のサーバー上のすべての物理コアのライセンスを取得する必要があります。

- サーバーに搭載されている物理プロセッサごとに最低 8 個のコア ライセンスが必要であり、サーバーごとに最低 16 個のコアのライセンスが必要です。
- Standard Edition では、サーバー上のすべての物理コアのライセンスを保有している場合、最大 2 つの OSE を管理できる権利が提供されます。同じコアに複数のライセンスを割り当てて、管理する OSE を追加することができます。
- System Center 2016 の 16 コア ライセンスの価格は、System Center 2012 R2 の対応するエディションの 2 プロセッサ ライセンスと同等になります。

CML: サーバー以外の OSE を実行する管理対象デバイスには、クライアント管理ライセンス (CML) が必要です。CML は、OSE 単位またはユーザー単位で利用できます。Configuration Manager、Endpoint Protection、および Client Management Suite は、CML およびサーバー ML として販売されます。

System Center 2016

Standard および Datacenter Edition ライセンス データシート



System Center 2016 のサーバー管理ライセンスを物理コア ベースで取得するには

- 管理対象サーバー上のすべての物理コアのライセンスを取得します。
- 物理プロセッサごとに最低 8 個のコア ライセンスが必要です。
- 1 サーバーあたり最低 16 コアのライセンスが必要です。
- コア ライセンスは、2 コア パックで販売されます*。

Number of 2-core pack licenses needed
(Minimum 8 cores/proc; 16 cores/server)

		Physical cores per processor				
		2	4	6	8	10
Procs per server	1	8	8	8	8	8
	2	8	8	8	8	10
	4*	16	16	16	16	20

■ Licensing costs are same as 2012 R2
■ Additional licensing required
 * Standard may need additional licensing

- 1 台の物理サーバーのライセンスを取得するには、最低 8 個の 2 コア パックが必要です。各エディションの 2 コア パックの価格は、対応する System Center 2012 R2 のエディションの 2 プロセッサ ライセンスの 8 分の 1 の価格です。
- Standard Edition では、サーバーのすべての物理コアのライセンスを取得するときに、最大 2 つの OSE または Hyper-V コンテナに対する権利が付与されます。VM を 2 台追加するごとに、サーバーのすべてのコアに対して再度ライセンスを取得する必要があります。
- System Center 2016 の Datacenter Edition および Standard Edition の 16 コア ライセンスの価格は、System Center 2012 R2 バージョンの対応するエディションの 2 プロセッサ ライセンスと同等の価格になります。
- ソフトウェア アシユアランスの対象である既存のお客様のサーバーには、文書を作成することにより、必要に応じてコア使用権が付与されます。

プロセッサからコアへの付与

- System Center 2016 の一般提供開始後および契約更新前に、いつでもソフトウェア アシユアランス付きのライセンスを System Center 2016 にアップグレードすることができます。
- System Center 2016 の一般提供開始後、および契約更新時に、ソフトウェア アシユアランス付きのライセンスは、コアベースのライセンス体系に移行します。
- ソフトウェア アシユアランスが有効なオンプレミスのお客様は、契約更新時に、2 プロセッサ ライセンスごとに、プロセッサあたり最低 8 個のコアライセンス、およびサーバーあたり 16 個のコアライセンスが付与されます。サービス プロバイダーは、契約更新時、ソフトウェア アシユアランス付きの 1 プロセッサ ライセンスごとに最低 8 個のコアライセンスが付与されます。
- 3 つ以上の OSE を実行している 4 プロセッササーバーに割り当てられた Standard Edition ライセンスおよびソフトウェア アシユアランスを有するお客様には、追加の OSE に対するライセンス使用権が付与されます。インベントリが作成されていない場合、ソフトウェア アシユアランス付きの 2 プロセッサ ライセンスごとに、プロセッサあたり 8 個のコア、およびサーバーあたり 16 個のコア (8 個の 2 コア パック) が付与されます。

プロセッサあたり 8 コア以下でサーバーあたり 16 コア以下のサーバー:

- お客様には、プロセッサあたり最低 8 個のコア、およびサーバーあたり 16 個のコアが付与されます。
- 価格への影響はありません (System Center 2012 R2 の 2 プロセッサの価格と比較した場合)。System Center 2016 の Datacenter Edition および Standard Edition の 16 コア ライセンスの価格は、対応する System Center 2012 R2 バージョンのエディションの 2 プロセッサ ライセンスと同等です。

プロセッサあたり 9 コア以上でサーバーあたり 17 コア以上のサーバー:

- お客様には、プロセッサあたり 8 個、サーバーあたり 16 個を超えるコアを搭載したサーバーに対してコア使用権が付与されます。
- お客様には、追加コアのソフトウェア アシユアランスの料金をお支払いいただけます。